

5/21 (火) の発表

報道発表資料の配付日時 5/21 (火) 15時00分

発表項目	感染性胃腸炎患者の発生について (速報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について (週報)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
	月 日 () 時 分～	発表場所	
概要	別紙のとおり ■ 速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの) 江別保健所 保育所 17名 ノロ ……別紙1 倶知安保健所 医療機関 23名 ノロ ……別紙2 北見保健所 保育所 16名 ノロ ……別紙3 帯広保健所 保育所 10名 ロタ ……別紙4 帯広保健所 小学校 22名 ロタ ……別紙5 ■ 週報 (腸管出血性大腸菌感染症の発生を週単位で公表するもの。) 倶知安保健所 O157 ……別紙6		
参考			

報道 (取材) に当たっての お願い	本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク	江別、倶知安、北見、帯広保健所	

担当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当：高橋) 電話 (代表) 011-231-4111 (内線25-506) (ダイヤル) 011-204-5253
-------------	---

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）5月21日（火）15：00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
TEL：011-231-4111（内線：25-506）
FAX：011-232-2013

令和元年（2019年）5月20日（月）、江別保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 探知

令和元年（2019年）5月17日（金）に、江別保健所管内の保育所から、複数の園児が下痢、おう吐などの症状を呈している旨、保健所に通報があった。

2 発生の概要

江別保健所管内の保育所の園児15名及び職員2名の計17名が、5月13日（月）から5月20日（月）にかけて、下痢、おう吐などの症状を呈し、うち16名が医療機関を受診し、検査、治療を受けた。（入院した者はいない。）

3 現在の症状

5月21日（火）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

5月13日（月）～5月17日（金）

下痢、おう吐などの有症者発生

5月14日（火）～5月20日（月）

医療機関において、有症者のうち6名の便を検査した結果、5名からノロウイルスを確認

5月17日（金）

保育所から保健所に通報

5 感染経路

現在調査中

6 対応

江別保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員等の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、江別保健所においても、資料配付を行っています。

<報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。>

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中して発生するが、一年を通して発生が見られる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜伏期間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況（ロタウイルスを除く） 5月21日（火）現在】

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
件数（件）	206	210	138	150	179	182	137	74
有症者数（人）	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	1,561

*政令市（札幌市を除く）保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）5月21日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL：011-231-4111（内線：25-506）

FAX：011-232-2013

令和元年（2019年）5月20日（月）、俱知安保健所管内の医療機関において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 探知

令和元年（2019年）5月17日（金）に、俱知安保健所管内の医療機関から、複数の患者及び職員がおう吐、下痢、発熱等の症状を呈している旨、保健所に通報があった。

2 発生の概要

俱知安保健所管内の医療機関の入院患者19名及び職員4名の計23名が、5月16日（木）から5月19日（日）にかけて、おう吐、下痢、発熱等の症状を呈し、全員が医療機関を受診し、検査、治療を受けた。

3 現在の症状

5月21日（火）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

5月16日（木）～19日（日）

16日（木）～19日（日）

20日（月）

おう吐、下痢、発熱等の有症者発生

医療機関において有症者21名の便を検査した結果、

12名からノロウイルスを確認

医療機関から保健所に通報

5 感染経路

現在調査中

6 対応

俱知安保健所では、当該医療機関に対し、患者及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、俱知安保健所においても、本日15時00分に資料配付を行っている。

<報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。>

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にする事や、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜伏期間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況（ロタウイルス除く）

【5月21日（火）現在】

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
件数（件）	206	210	138	150	179	182	137	74
有症者数（人）	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	1,561

*政令市（札幌市を除く）保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2019年)5月21日(火)15:00
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
 FAX: 011-232-2013

令和元年(2019年)5月20日(月)、北見保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

- 探知**
令和元年(2019年)5月17日(金)に、北見保健所管内の保育所から、複数の園児がおう吐、下痢等の症状を呈している旨、保健所に通報があった。
- 発生の概要**
北見保健所管内の保育所の園児12名及び職員4名の計16名が、5月9日(木)から5月17日(金)にかけて、おう吐、下痢、発熱等の症状を呈し、うち7名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)
- 現在の症状**
5月21日(火)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
- 経過**
5月9日(木)～17日(金) おう吐、下痢、発熱等の有症者発生
5月17日(金) 保育所から保健所に通報
5月20日(月) 保健所において有症者のうち5名の便を検査した結果、5名全員からノロウイルスが検出された。
- 感染経路**
現在調査中
- 対応**
北見保健所では、当該保育所に対し、園児の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。
- その他**
この件については、本日15時00分、北見保健所においても、資料配付を行っています。
＜報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。＞

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にする事や、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中して発生するが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)、腹部不快感

潜伏期間：通常48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団ノロウイルス感染性胃腸炎の発生状況 5月21日(火)現在】

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
件数(件)	206	210	138	150	179	182	137	74
有症者数(人)	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	1,561

* 政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

* 定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）5月21日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL：011-231-4111（内線：25-506）

FAX：011-232-2013

令和元年（2019年）5月20日（月）、帯広保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和元年（2019年）5月13日（月）に、帯広保健所管内の保育所から、複数の園児及び職員が下痢、おう吐、発熱症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

帯広保健所管内の保育所の園児9名及び職員1名の計10名が、5月13日（月）から5月17日（金）にかけて、おう吐、下痢等の症状を呈し、うち4名が医療機関を受診し、治療を受けた。（入院した者はいない。）

3 現在の状況

5月21日（火）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

5月13日（月）～ 5月17日（金）	おう吐、下痢等の有症者発生
13日（月）	保育所から保健所に通報
5月13日（月）～ 5月20日（月）	医療機関及び保健所において、有症者4名の便を 検査した結果、2名からロタウイルスが確認された。

5 感染経路

現在調査中

6 対応

帯広保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、帯広保健所においても資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ロタウイルスとは

ロタウイルスは、主として乳幼児に見られる急性胃腸炎の原因ウイルスである。
ロタウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、冬期から春期に集中して発生する。
なお、成人でも感染が見られることがある。

主 症 状：下痢、吐き気、おう吐、腹痛、発熱

潜 伏 期 間：2～4日

経 過・予 後：通常1～2週間で回復

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）5月21日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL：011-231-4111（内線：25-506）

FAX：011-232-2013

令和元年（2019年）5月20日（月）、帯広保健所管内の小学校において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和元年（2019年）5月20日（月）に、帯広保健所管内の小学校から、複数の児童及び職員が腹痛、おう吐、下痢症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

帯広保健所管内の小学校の児童21名及び職員1名の計22名が、5月6日（月）から5月20日（月）にかけて、腹痛、おう吐、下痢等の症状を呈し、うち15名が医療機関を受診し、治療を受け、児童2名が入院した。

3 現在の状況

5月21日（火）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
また、入院中した2名はすでに回復し退院している。

4 経過

5月 6日（月）～ 5月20日（月）	腹痛、おう吐、下痢等の有症者発生
20日（月）	小学校から保健所に通報
5月13日（月）～ 5月16日（木）	医療機関において、有症者2名の便を検査した結果、2名からロタウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

帯広保健所では、当該小学校に対し、児童及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、帯広保健所においても資料配付を行っています。
報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ロタウイルスとは

ロタウイルスは、主として乳幼児に見られる急性胃腸炎の原因ウイルスである。
ロタウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、冬期から春期に集中して発生する。
なお、成人でも感染が見られることがある。

主 症 状：下痢、吐き気、おう吐、腹痛、発熱

潜 伏 期 間：2～4日

経 過 ・ 予 後：通常1～2週間で回復

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和元年（2019年）5月21日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL 011-231-4111(内線:25-506)

FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）19週（5月6日（月）～5月12日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ペロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

記

1 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日 及び主な症状	受診日	保健所 確認日	現在の状況	備考
倶知安	無症状病原体 保有者 (O157)	女性 (20歳代)	—	5月7日 (火)	5月10日 (金)	—	—

2 対応

- ・ 家族等の健康調査及び便検査
- ・ 患者及び家族等の喫食調査
- ・ 家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。

<報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

〔参考〕 腸管出血性大腸菌感染者の道内における発生状況（平成31年）

5月19日（日）現在

区分	1	8	25	26	74	91	103	111	115	121	128	136	145	146	148	157	165	不明	合計
患者				1		1	1									11			14
無症状病原体保有者				1		6	1				1							1	10
計				2		7	2				1					11		1	24

(単位：人)

*政令市（札幌市・函館市・小樽市・旭川市）及び本日発表分を含む。

*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)